

上：中在所の集落　〔写真提供：上村修一氏〕

下：大師堂あたりの集落（昭和 38 年）　〔写真出典：上村俊邦著『石徹白郷資料集』（未完）〕

石徹白の建物の特徴の一つに、良質なスギ材がふんだんに用いられていることが挙げられます。現在の石徹白の建物の多くはトタン屋根ですが、それ以前は、スギ材を中心とする「くれ板」で葺かれていました。くれ板の上に石を重石として乗せました。

また、壁も板壁です。全国的に見ると板壁は、城下町など町に多い壁。農村部では、土壁がほとんどですから、石徹白の板壁は珍しい事例です。「石徹白スギ」と呼ばれる良質なスギの産地であったこと、そして豪雪地帯で土壁では雪に対処できないということから、板壁になったものと推測されます。